

2019年 6月発行

山梨県 桃の会

HP <http://momonokai.org/>

E-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp

会報第57号

子供を育てるとき

多くの親は思いやりのある子供に

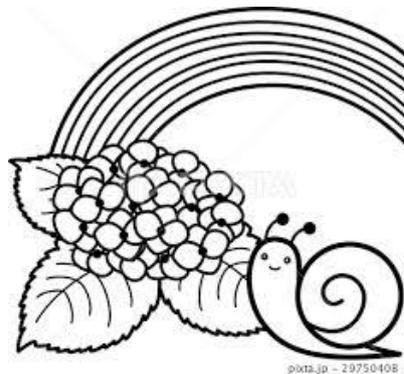
育てたいと思っている

思いやりが大事だなんて言う必要はなく

誰かの喜びや悲しみを親や関わる人たちが

一緒になって喜んだり、悲しんだりできれば

それが子供の手本となる



出会う、つながる、わかちあう

K H J 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部



ピア Voice

5月月例会は、北杜市障害福祉課の斉藤洋氏にお話を伺いました。

北杜市には、2年前からひきこもり窓口が設けられていて

ひきこもりサポーターの養成に力を入れて地域で身近な取り組みを

目指してこられました。ひきこもりサポーターは全員民生委員の方々に構成されていますが、まだ具体的な支援に至っていないということです。地域の身近な存在のほ
ずなのに何故活動に至らないのでしょうか。

会に参加された方々に自分達が望む支援を聞いてみました。

殆どの方が民生委員には相談しにくいという意見でした。

身近な存在なのでプライバシーをあまり知られたくないという思いが
強くあるようです。

親にとってまだまだ「ひきこもり」という現象に対して恥ずかしい事
怠けている、自分の育て方が悪かったなどの思いが根強くあることが
感じられました。

一方でサポーターを民生委員だけではなく、経験している家族も
担えるのではないかという意見も出ました。

大事なものは、関わる人が誰かということではなく、ひきこもりという
行為を「怠けている」と否定的に捉えないで、彼らや家族の心深くに
根差す思いを知ろうとする事だと思います。

生きる というエネルギーを削がれてしまった若者のみならず

中年期以上の人たちが増加するこの社会に危機感を持つ人が増えて
ほしいと思います。

その為にはひきこもっていることを隠さないでオープンに話せるような社会を作っ
ていかねばならないでしょう。

一部の人達の力だけではひきこもり現象を快方に向かわせるのは

無理です。社会全体で危機感を持って人ごとではなく自分の問題として考えられるようになる事が今私達に求められているのだと思います。

北杜市の取り組みも様々な意見を取り入れつつ継続的に宜しくお願いします。



年会費のお礼

年会費納入のご協力有り難うございます。

自助会として何とか6年目を迎えられ継続出来ることは皆様の支えなくしてはできません。

改めて皆様の熱い応援に感謝致します。

◆◆ 家族会は一人一人の孤立を防ぐために、今の社会になくてはならない会です。

人と人が繋がる事でしか現状を打破することはできません。今を生きる私達が行動しなければ、未来に希望は持てないのです。一人一人が作り上げていく社会、どうかこれからもご協力を宜しくお願いします。



腕時計 M君への返信

山田 孝明

僕は腕時計をしなくなって随分となります。東京に出るとき

母が「大切にしなさい」と言って腕時計を一つ手渡してくれました。

高田馬場の近くに4畳半の下宿を借り、大学生活をはじめました。

当時の学生がそうであったように、多くのアルバイトをして自分の生活を

ささえてました。時には生活費を工面するため、公園の近くにあった質屋に

よく通いました。店の親父さんはとても親切な人で、事情を説明すると

いらなくなった大学の教科書、文庫本なども質に入れてくれました。

ある日、母からもらった腕時計を質に入れ、流してしまったのです。

ぼくは後悔しました。あんな時計どこにでもあるかと自分でなぐさめてみました。

しかし、どの他のものと交換することが出来ないことに気が付いたのです。

それ以来、ぼくは腕時計をしていません

他のものと取り換えることが不可能なもの

古くて今では死んだような言葉になってしまったけれど

ぼくたちはそれを「かけがえのないもの」と呼んでいるのです。

M君、君の身のまわりにはありませんか？

何よりも愛着を持ち、かけがえのないもの

君の手紙の中に「自殺を考えた」と書いてありましたが

誤解なく言えばとても素晴らしいことです。

他のものと交換不能でもっとも「かけがえのないもの」は実は、

君の生（いのち）なのです。1年半の間、君が学校へ行かず、ときおり襲う絶望と不安の中で君の生（いのち）のかけがえのなさを君自身が確信したのです。

M君！寝袋を持っていますか？ぼくが17才のとき、寝袋が僕の大切な友達でした君が近所を歩けない気持ちもよく分かります。朝早く列車に乗ることをすすめます遠くの街を歩いてみよう！ぼくにとっても（室内にいては感じられない）すばらしい出会いがたくさんありました。

M君また、お手紙下さい。

（桃の会 スーパーバイザー）



守秘義務について

安心して話せる場所だからこそ、この場所だけの話にしましょう！
それは自分を守り、仲間を守り、みんなを大事にする事です。



6月月例会

元当事者、ジヨニーさんの

社会に出てから・・・

- * 日時 6月16日（日）13：30～16：30
- * 場所 山梨県福祉プラザ 4F 大ホール
- * 参加費 一家族 1.000円 （当事者は無料）

* お話 奥村 義行氏

* プロフィール ひきこもり経験17年 現在ダスキンの事務職

「エスポワール 名古屋」の世話人

その他、名古屋オレンジの会などにボランティアに参加

* 内容 ジョニーさんは現在の仕事を始めて4年。

社会に出るまでの苦悩や、社会に出てから更に深まる生きづらさ

内面の変化などお話ししていただきます質問形式を多く取り入れて

リラックスした雰囲気の集まりを考えております。

後半は小グループに分かれてグループトークを行います。

猛暑が予測されますが沢山の方々の参加をお待ちしております。



6月のミニグループトーク

* 日時 6月23日(日) 10:00~12:00

山梨県福祉プラザ 4F 第一会議室

少人数でゆったりとお互いに語り合う場です 参加費は500円です(当事者は無料)



当事者スペースをお休みします

6月の当事者スペースは都合によりお休みします。7月の再開時には是非参加して下さい。

<p>農園でギャザリングしよう!</p> <p>市民農園: 1区画55㎡(約17坪) 1年間6,000円 場所: 甲府市七沢町 友達、家族などで一緒に畑で過ごしませんか! お問い合わせ: 055-243-0261(相良農園)</p>	<p>すみれ会</p> <p>月例会: 6月15日(土)13:30~15:30 場所: 南アルプス市市民活動センター お問い合わせ: 090-5416-8748(清水) * すみれ会は桃の会とは別に地域で活動している家族会です</p>
---	--



7月の予定 月例会 7月21日(日)

ミニトーク 7月28日(日) 場所はどちらも福祉プラザです。

お問い合わせ TEL&FAX 0266-55-5411 090-6190-8677 桃の会事務局